

# 令和6年度 第1回東峰村地域公共交通活性化協議会 議事録

## ◆会長あいさつ

## ◆委員紹介

## ◆役員選出

東峰村地域公共交通活性化協議会設置要項第6条による、会長、副会長、幹事の役員の選出

会長:副村長 菅 義範

副会長:九州産業大学 教授 稲永健太郎

幹事:東峰村社会福祉協議会 会長 岩田渉

## ◆報告事項

### ①東峰村乗合タクシーの実績報告について

4月から有償運行を開始しているが、2月、3月の無償時と比べ利用者数に大きな変化は見られず、概ね250人前後の利用者数となっている。1日あたりでは約8名と東峰村地域公共交通計画に記載してある令和9年度目標の20名にはまだ及ばないため、今後も継続的に周知を図っていく。

利用曜日についても平日の利用が主であり、休日(土日祝)の利用は3名程度と少なくなっている。これは、予約方法の内訳から、約9割が電話予約を利用しており、電話予約が平日のみの受付となっているため休日の利用が少なくなっていると推測される。休日の利用を増加するためにも、土日及び24時間予約可能なアプリの利用促進及びBRTで来村される観光客等の村内観光の足としての周知方法等も検討していく必要がある。

### ②地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金について

東峰村乗合タクシーの運行経費等の補助金申請のため、6月下旬に第1回東峰村地域公共交通活性化協議会を书面開催した内容について経緯報告。

現在は、九州運輸局から指摘事項を受け一部修正した申請書類を提出後、確認完了の連絡を受け、国土交通省本省にて審査がおこなわれている。

委 員)ドライバーの確保の状況はどうなっているか。

事務局)業者(1)6名登録のうち4名で回している。業者(2)3名で回している。

委 員)乗客数の目標値はどうなっているか。

アプリの促進はどのようにするか。その目標値はどのくらいか。

利用者から不満の声はあるか。

事務局)1日20名を目標値としている。

乗合タクシーの利用方法等のチラシを配布している。今後は利用率の高い70代以上の方が多く集まる老人クラブの総会等でアプリの説明も含め周知していく。地域おこし協力隊のDX推進員として雇用している方も連携していく。

タクシーという認識が強く、目的地に直通ではなく経由して乗合運行するため遠回りになっている。アプリの予約方法が分からない。実際に使う時に教えてもらわないと分からない。反対に、補助グリップやステップがあり乗りやすいという声もある。

## ◆協議事項

### ①西鉄バス浮羽支線(杷木～小石原線)の廃止申入れについて

西鉄バス浮羽支線の廃止申入れ及び廃止申出に係る要望書を提出した経緯を事務局より説明。

それらを踏まえ、西鉄バスより浮羽支線の今後の対応について、運転士不足により令和6年10月5日から減便、令和7年4月1日より廃止することとなる申し出を受け、本協議会としては一定

の理解を示さざるを得ず、また、東峰村乗合タクシーの杷木バス停までの路線延伸によって代替の交通手段が確保できる予定であることから、了承することとした。

この件について、本協議会終了後、福岡県バス対策協議会へ報告を行う。

②東峰村乗合タクシーの杷木バス停乗り入れについて

- ・朝と夜の区域型で運行する。(令和6年10月7日～令和7年3月31日 土日祝日を除く)
- ・朝便(6時小石原庁舎発 → 6時45分杷木バス停着)
- ・夜便(19時15分杷木バス停発 → 20時小石原庁舎着)  
※朝夜便共に、途中は塔の元、大行司駅、宝珠焼前(いずみ館前)に停車し、これ以外の場所での乗降はしない。
- ・運賃は現状の東峰村乗合タクシーの料金と同様とする。
- ・指定の場所、時間で乗降を行い、事前予約は不要とする。
- ・空便でも走行するが、それが続く場合は運行を取りやめる可能性もある。
- ・車両は既存のノアを利用し運行する。

委員)今後の近隣自治体の考えはどうなっているか。

空便が続いたら運行を取りやめるという判断基準は急すぎるのではないか。

事務局)朝倉市、うきは市、日田市の担当者より、各自治体の方向性を説明。

利用が無いからすぐに運行を取りやめるということはない。実情を踏まえて、本協議会に諮り、協議をして決定をしよう。

委員)杷木バス停にミーティングポイントを作ることは、朝倉市の了承を得ているのか。

現在の、のり一と東峰の運行の仕方はどうなっているか。

事務局)朝倉市の協議会に説明は済んでいる。杷木バス停を管理している西鉄バス二日市には説明をしており、詳細を協議中。

のり一と東峰の運行時間は、8時30分から17時までとなっている。

委員)運転手の確保はできるのか。

持続的に運行ができるように村として考えはあるか。

事務局)事業者と協議しながら進めていく。

一般の方で講習を受ければ運転手となれるので、講習会を開催し、人員の確保を図っていく。

委員)延伸後の周知方法はどうか。西鉄バス車内等で掲示できないか。

事務局)相談に応じる。

◆その他

- ・日田彦山線BRTひこぼしライン開業1周年記念行事について